



さらなる飛躍へ

2017年3月期 通期決算説明会

2017年5月24日



大陽日酸
The Gas Professionals

目次

- 2017年3月期 通期業績
 - 通期業績概要
 - セグメント別業績
 - 中期経営計画 Ortus Stage 1 達成状況
- 2018年3月期 通期計画概要
- 2018年3月期 セグメント別通期計画
 - 国内ガス事業
 - 米国ガス事業
 - アジア・オセアニアガス事業
 - サーモス他事業
- 株主還元

2017年3月期 通期業績



Ortus Stage 2

業績概要

(単位：億円)

	16/3月期 通期実績(IFRS) 利益率	17/3月期 通期実績(IFRS) 利益率	前年同期比	17/3月期 通期公表値(IFRS) 利益率
売上収益	5,944	5,815	-129 -2.2%	5,800
コア営業利益	474 8.0%	547 9.4%	+73 +15.3%	540 9.3%
非経常損益	14	-10	-24	10
営業利益	489 8.2%	536 9.2%	+47 +9.7%	550 9.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	290 4.9%	347 6.0%	+57 +16.4%	330 5.7%

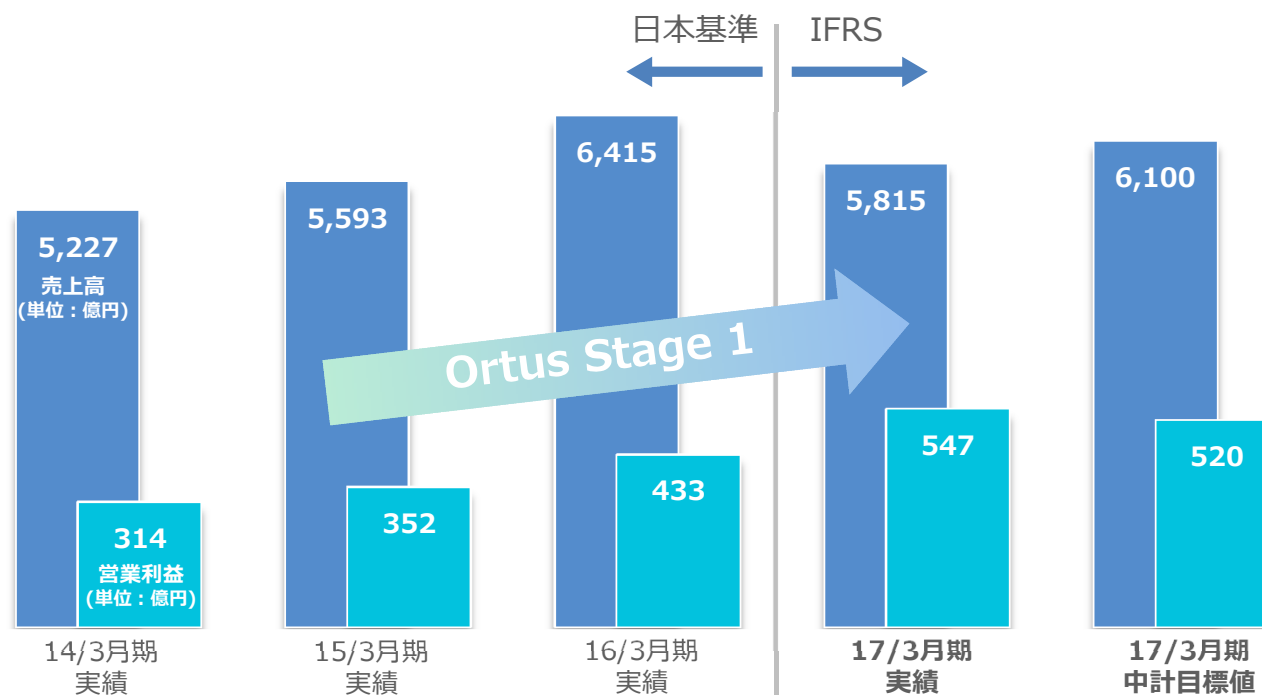
セグメント別業績

(単位：億円)

		16/3月期 通期実績 (IFRS)	17/3月期 通期実績 (IFRS)	増減率	要因
国内ガス	売上収益	3,279	3,214	-2.0%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 原油価格下落の影響により、LPガスの売上が減少 ➢ 液晶、半導体向けにエレクトロニクスガスが出荷好調
	セグメント利益	278	294	+5.7%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 液晶、半導体向けエレクトロニクスガスの増収による増益 ➢ 原油価格下落によりコスト低減
米国ガス	売上収益	1,495	1,472	-1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ バルク（特に炭酸ガス）は堅調も、ハードグッズが減少 ➢ Air Liquideから買収した事業の売上を計上 +147億円 ➢ 為替換算の影響 -142億円
	セグメント利益	92	120	+30.7%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 食品、飲料向け炭酸ガス好調による増益 ➢ Air Liquideから買収した事業の計上による寄与 +19億円 ➢ 為替換算の影響 -9億円
アジア・オセアニアガス	売上収益	893	858	-3.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ フィリピン事業好調 ➢ M&A（タイ、豪州）による寄与 +70億円 ➢ 決算期変更（タイ、豪州、シンガポール） -55億円 ➢ 為替換算の影響 -91億円
	セグメント利益	30	51	+71.6%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ M&A（タイ、豪州）による寄与 +11億円 ➢ 決算期変更（タイ、豪州、シンガポール） +3億円 ➢ 事業・設備の減損損失 16/3月期 18億円、17/3月期 2億円 ➢ 為替換算の影響 -5億円
サーモス他	売上収益	275	270	-1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ インバウンド需要による伸びは一段落 ➢ 為替換算の影響 -3億円
	セグメント利益	90	100	+11.3%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 円高による輸入価格低減効果 ➢ 海外関係会社好調による持分法投資利益の増加 ➢ 為替換算の影響 -3億円

※ セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出した「コア営業利益」で表示しております。

中期経営計画 Ortus Stage 1 達成状況



日本基準：売上高 IFRS：売上収益	5,227	5,593	6,415	5,815	6,100
日本基準：営業利益 IFRS：コア営業利益	314	352	433	547	520
日本基準：営業利益率 IFRS：コア営業利益率	6.0%	6.3%	6.8%	9.4%	8.5%
日本基準：海外売上高比率 IFRS：海外売上収益比率	31.4%	35.0%	44.4%	40.8%	41.4%
ROCE※	6.2%	6.2%	7.4%	8.4%	8.6%

※ ROCE = コア営業利益 / (有利子負債残高 + 親会社の所有者に帰属する持分)

2018年3月期 通期計画

概要



2018年3月期 通期計画

(単位：億円)

	17/3月期 通期実績(IFRS) 利益率	18/3月期 通期計画(IFRS) 利益率	前年同期比
売上収益	5,815	6,200	+385 +6.6%
コア営業利益	547 9.4%	565 9.1%	+18 +3.2%
非経常損益	-10	5	15
営業利益	536 9.2%	570 9.2%	+34 +6.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	347 6.0%	345 5.6%	-2 -0.7%

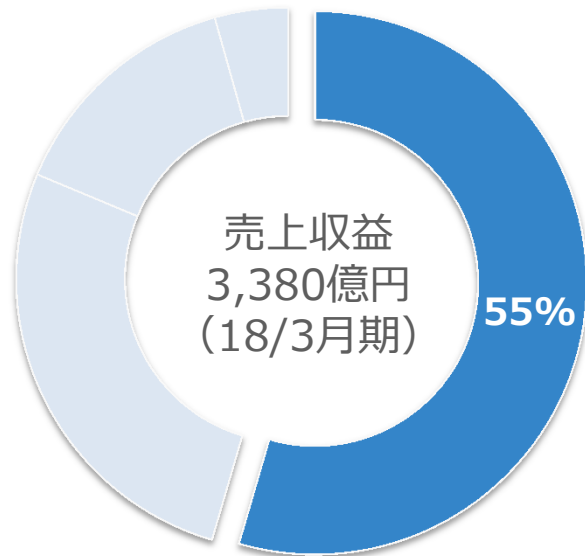
2018年3月期 通期計画

国内ガス事業

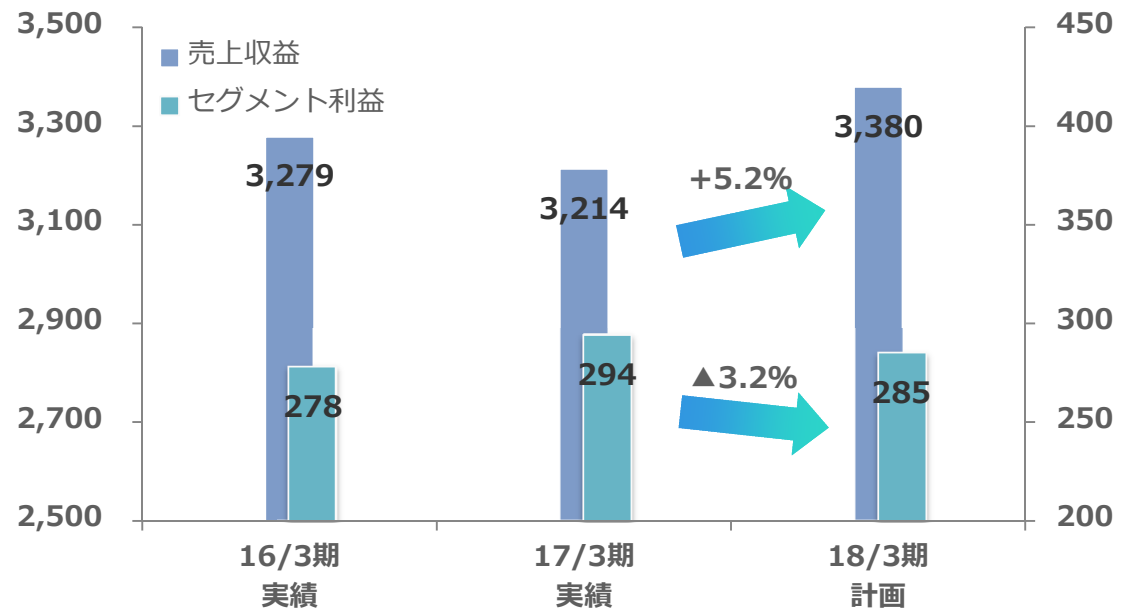


Ortus Stage 2

国内ガス事業




(単位：億円)



今期の見通し

- 国内産業ガス需要はエレクトロニクスなど一部産業で期待できるものの、全体として大きな伸びは期待できない状況
- エネルギー価格の上昇により、コストは上昇する見込み
- 新日鐵住金(株)八幡製鉄所、JFEスチール(株)西日本製鉄所向けオンサイトが稼働開始予定
- 情報システム基盤の強化、R&D推進のための経費増

国内ガス事業

事業別	今期計画達成に向けた取り組み
産業ガス	<ul style="list-style-type: none">● 事業領域の拡大（機器ビジネス 等）● 電子材料ガスの拡販● 生産と物流の一元管理によるバルクガス収益改善● JFEサンソセンター倉敷工場の本格運営● 炭酸ガスの生産能力強化 
メディカル	<ul style="list-style-type: none">● Water-¹⁸Oの拡販と安定供給● ホームケア、呼吸器ケア商材の拡販
エネルギー	<ul style="list-style-type: none">● 民生用を中心とした直売顧客拡大● 燃料転換提案の検討（重油→LPガス/LNG）

国内ガス事業：大型オンサイトプロジェクト

【水島コンビナート】

オンサイト案件概要

会社名：JFEサンソセンター 倉敷工場

(当社 60% JFEスチール 40%)

供給先：JFEスチール(株)西日本製鉄所

事業開始：2017年10月

新設プラント能力：

酸素ガス 60,000Nm³/h×2基

窒素ガス 83,000Nm³/h×2基

- 酸素生産量は国内最大規模

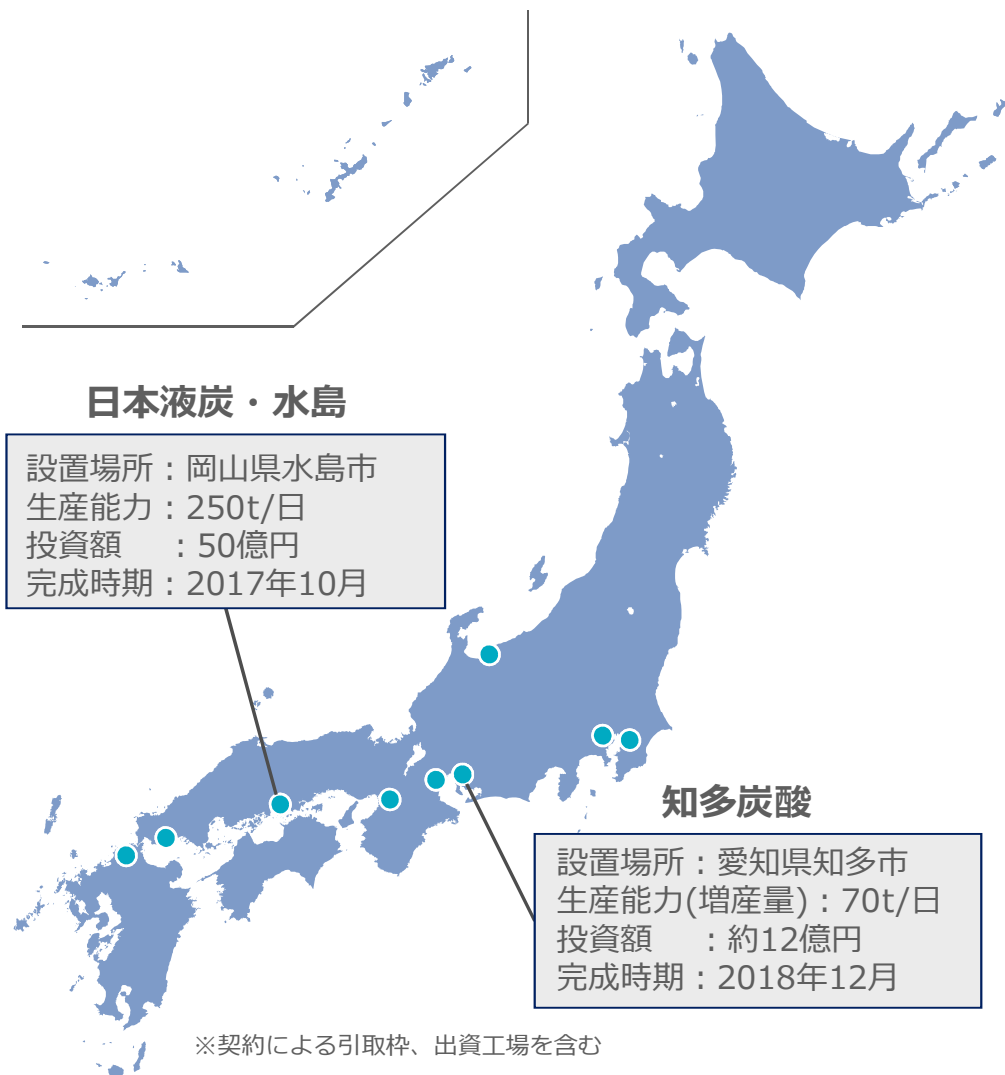


産業ガス需要の大きな伸張が期待できない国内において、
事業委託ニーズを取り込み、基盤事業を強化

国内ガス事業：炭酸ガス



【日本液炭の生産拠点】



【炭酸ガス安定供給への取り組み】

背景

- 燃料油需要減や国内アンモニア製造停止により、原料ソースが不足
- 長距離輸送や海外からの仕入れが常態化

取り組み

- 中四国・関西地区
水島に低濃度の炭酸ガスソースの回収・精製設備を建設し、域内の安定供給を図る
- 中日本・東日本
知多炭酸の設備増強により生産量を増加し、域内の安定供給を図る

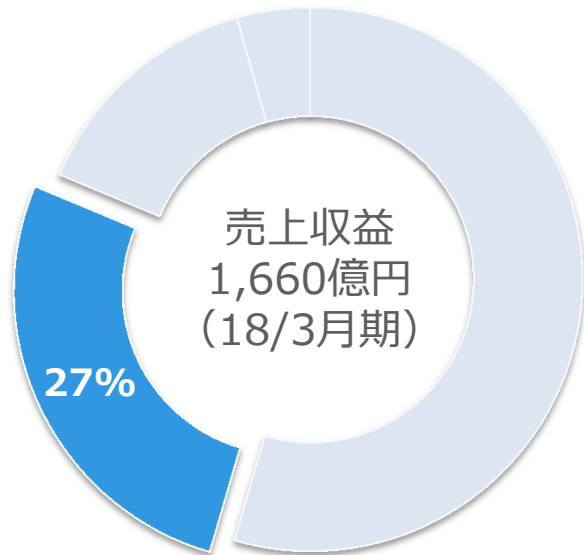
2018年3月期 通期計画

米国ガス事業

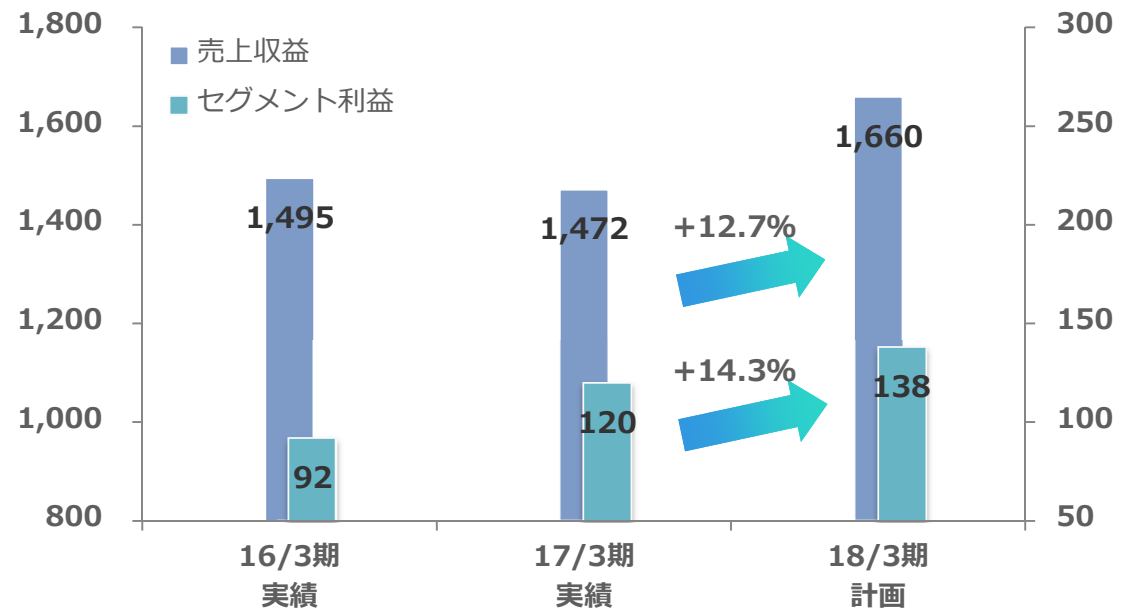


Ortus Stage 2

米国ガス事業



(単位：億円)



今期の見通し

- 個人消費と企業の投資活動の回復を背景に、米国経済は緩やかに回復し、これに伴い産業ガス需要も上昇基調
- 2016年9月にAir Liquideから買収した事業が通年寄与

米国ガス事業

事業別	今期計画達成に向けた取り組み
産業ガス	<ul style="list-style-type: none">● 新プラント建設（CA、TX、LA）を通じたバルクガスビジネス拡大● サソール向けオンサイトの安定稼働● 買収事業のシナジー効果創出
エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none">● 戦略顧客への営業強化 
炭酸ガス	<ul style="list-style-type: none">● ペンシルベニア州新工場の確実な立上げ● 値上げと生産能力の確保による事業拡大

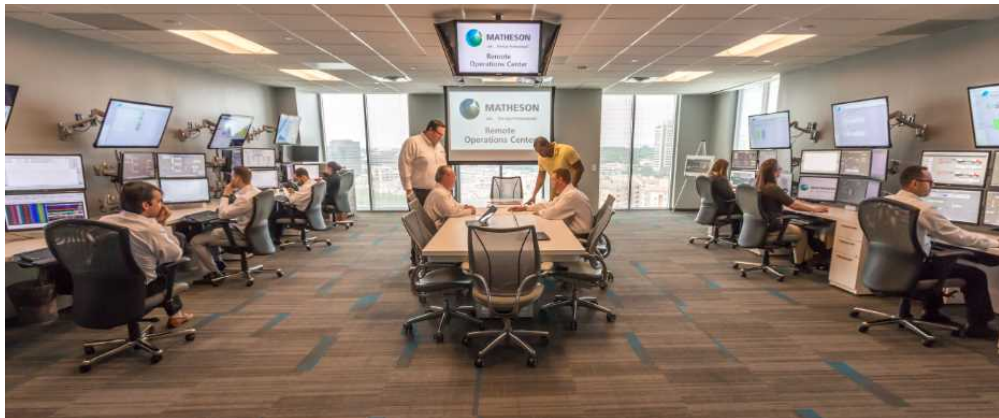
米国ガス事業：Air Liquide買収事業 シナジー創出の取り組み

集中管理による
生産・物流の
最適化

東部・中西部の
既存拠点・買収拠点
での合理化

東部・中西部の
原料ガスを外部調達
から内部供給へ
切り替え

垂直統合戦略による
東部・中西部での
事業拡大



Remote Operation Center
(テキサス州アービング)



買収した空気分離装置
(オハイオ州トレド)

米国ガス事業：炭酸ガス



社名：Continental Carbonic Products, Inc.

- 2014年2月にMatheson Tri-Gas社を通じて買収
- ドライアイスのシェアでは全米第2位
- 全米に12基の製造プラントを所有(CCPI社 8基、Air Liquide買収 4基、建設中 1基)

商品ポートフォリオ



Full Block



High Density Blasting Ice



Cut Block



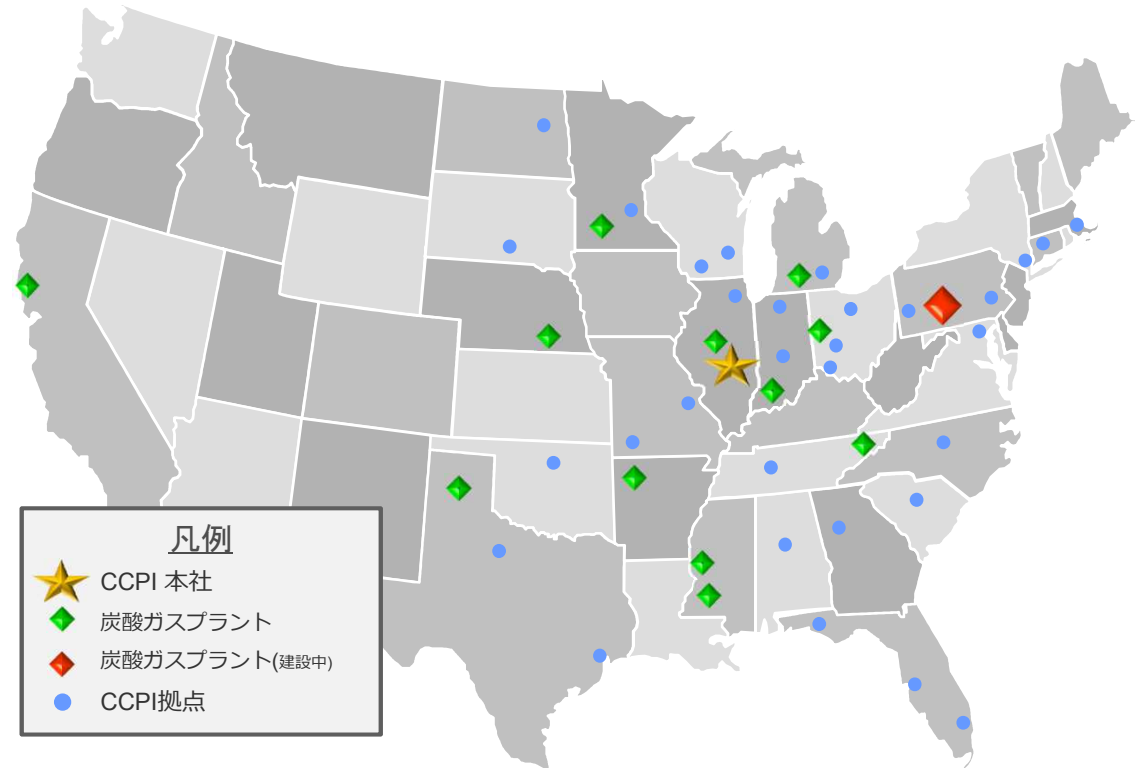
Blasting Equipment



Dry Ice Pellets



Liquid CO₂



食品・飲料向けの堅調な需要増を背景に炭酸ガス事業を拡大

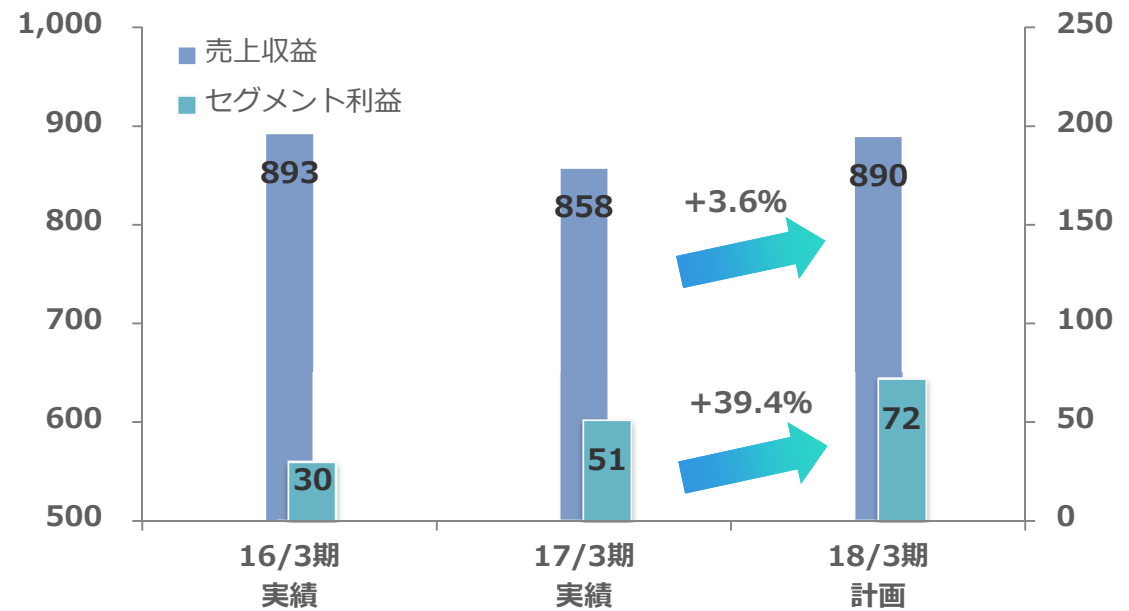
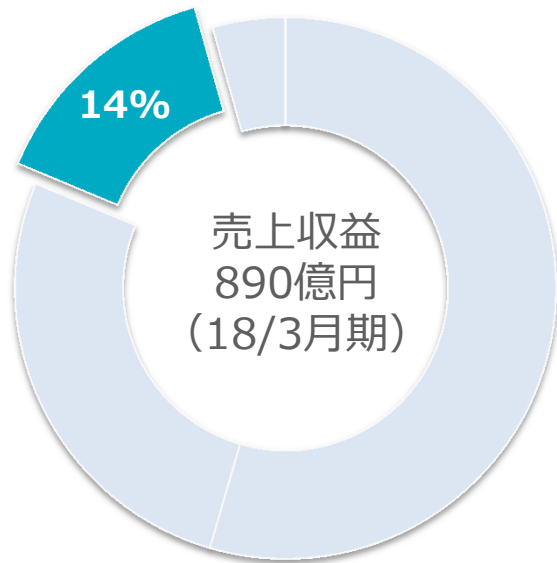
2018年3月期 通期計画

アジア・オセアニアガス
事業

Ortus Stage 2

アジア・オセアニアガス事業

(単位：億円)



今期の見通し

- フィリピン、ベトナムをはじめとする東南アジアでは産業ガス需要が拡大
- 2016年12月に買収したSupagas社が通年寄与
- タイのAir Products Industry社、豪州のRenegade Gas社で前期15カ月決算の効果が剥落

アジア・オセアニアガス事業

地域別	今期計画達成に向けた取り組み
東南アジア	<ul style="list-style-type: none">● 自社ブランドのハードグッズ、セーフティグッズ拡販（シンガポール）● 自社工場の炭酸ガス拡販（シンガポール）● バルク、パイピング事業の拡大（フィリピン、ベトナム）
東アジア	<ul style="list-style-type: none">● 産業ガス：江蘇省の経済特区でパイピング事業を計画● エレクトロニクス：大手ユーザーへの営業力を強化 
オセアニア	<ul style="list-style-type: none">● 食品、鉱業、製造業向けに拡販● 仕入一元化、配送効率化など買収した2社(RGP、Supagas)の一体運営
インド	<ul style="list-style-type: none">● 需要拡大が期待できるバルクの拡販● ヘリウム市場シェア確保● 製商品ラインナップの拡充（炭酸ガス、標準ガス）

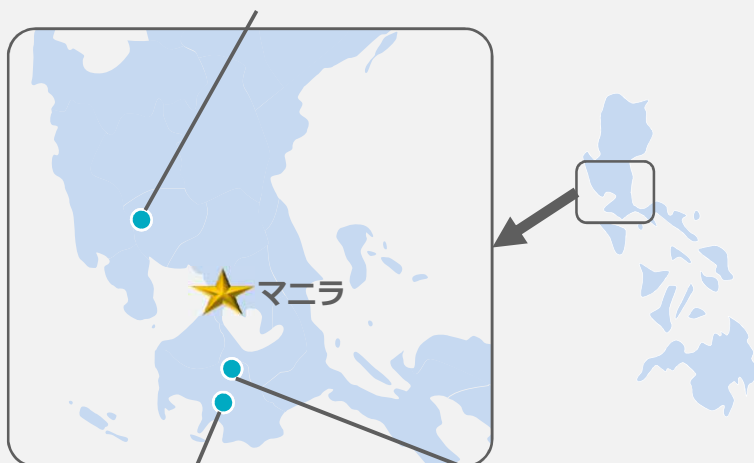
アジア・オセアニアガス事業：フィリピン

【ルソン島の産業ガス供給体制】

- マニラを挟んで南北に生産拠点を整備
- 液生産能力ではシェア第1位



パンパンガ州クラーク



バタンガス州サンホセ



バタンガス州タナウアン

圧倒的なバックアップ能力を背景に オンサイト事業を拡大

2016年度（～2017年3月）

- ソーラーパネルメーカー向け窒素ガスパイピング
（新設プラントより供給）
- 日系電子部品メーカー向け窒素ガスパイピング
（既存プラントより供給）

2017年度（2017年4月～）

- 電子部品メーカー向け窒素ガスパイピング
（新設プラントより供給）
- 電子部品メーカー向け窒素ガスパイピング
（クラークプラントより配管にて供給）

アジア・オセアニアガス事業：豪州

Renegade Gas

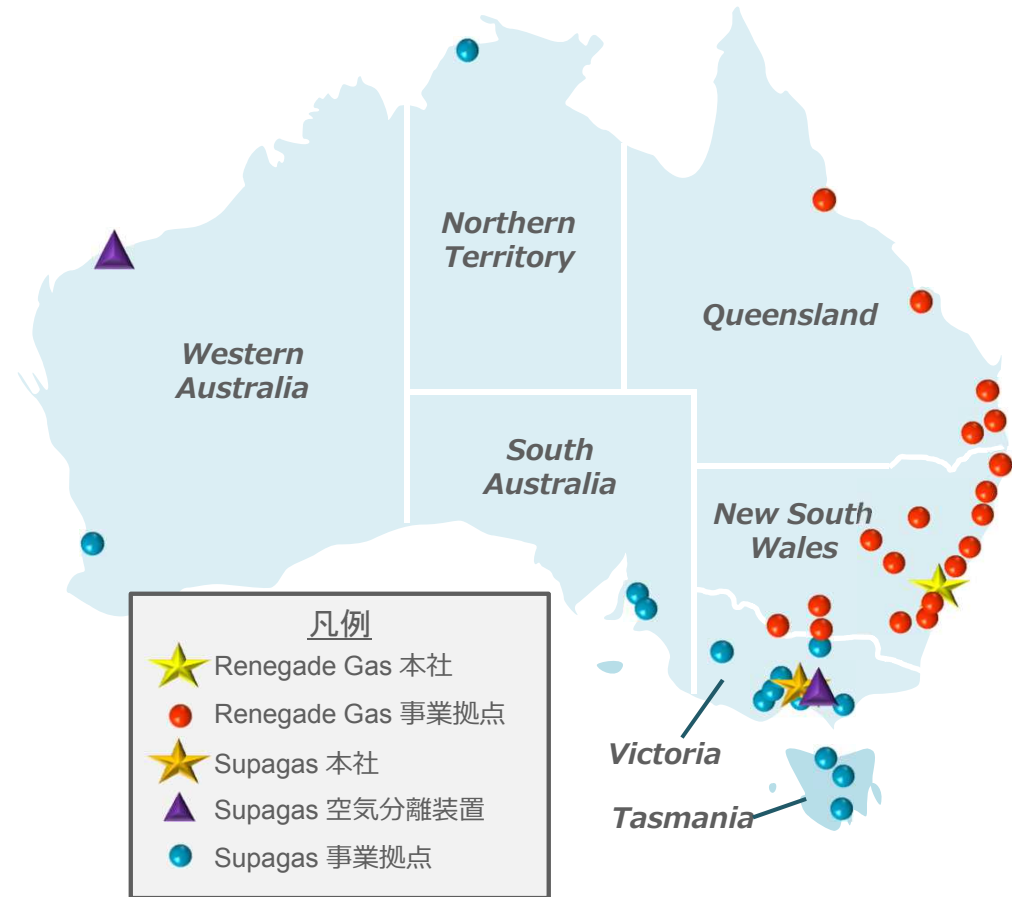
事業地域：ニューサウスウェールズ州、首都特別地域、クイーンズランド州

事業構成：LPガス 58% 産業ガス 30% ヘリウム 6% 他
強み：屋外ヒーター、ヘリウム

Supagas

事業地域：ビクトリア州、南オーストラリア州、西オーストラリア州、タスマニア州、北部準州

事業構成：LPガス 54% 産業ガス 33% 炭酸ガス 6% 他
強み：産業ガス、ドライアイス、ハードグッズ



ネーションワイドの販売ネットワークを生かした拡販や、
2社の商材補完等によるシナジー効果追求により、事業拡大を目指す

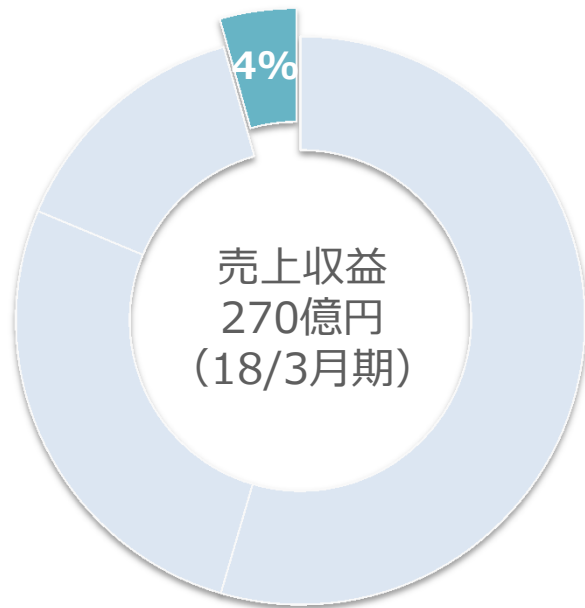
2018年3月期 通期計画

サーモス他事業

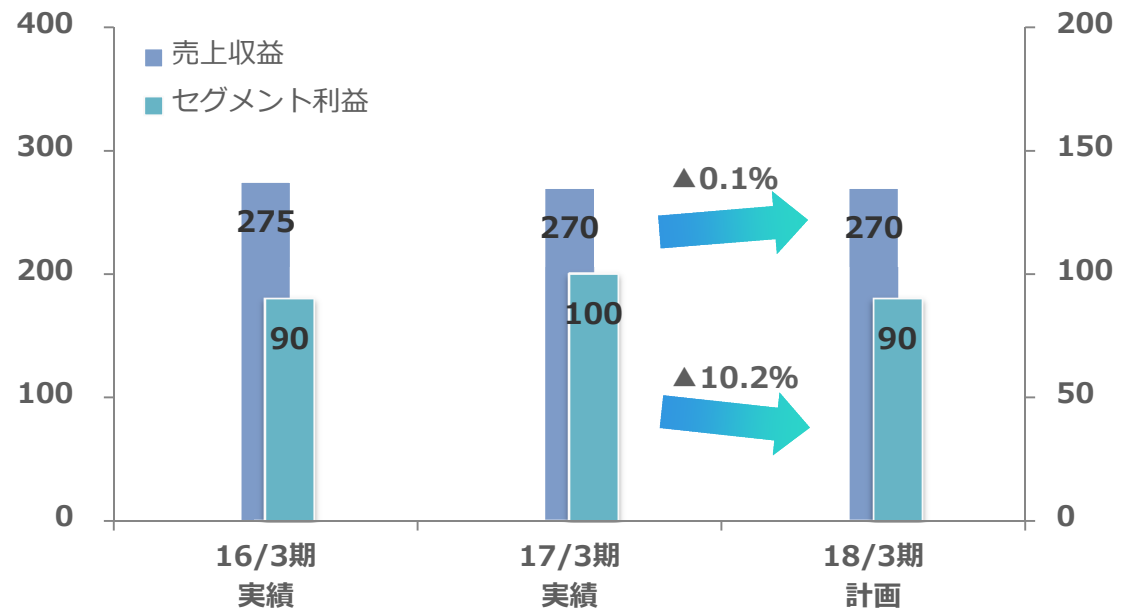


Ortus Stage 2

サーモス他事業



(単位：億円)



今期の見通し

- 携帯用マグはインバウンド需要が止まり、市場は軟化
- 卓上用ポットは節約志向の広がりで引き続き伸長
- 真空断熱のタンブラーやマグカップはライフスタイルとして定着してきたが、参入障壁が低く競争は激化

サーモス他事業

事業別	今期計画達成に向けた取り組み
日本	<ul style="list-style-type: none">● 専門性の高い商品の開発・市場投入● alfi製品のラインナップ拡充● 直営店とWEB直販サイトの活用● テーマ性を持ったイベントの実施
韓国	<ul style="list-style-type: none">● スーパー、TV通販による売上増● 新規販路向け営業体制を強化● 雑誌、インターネット等での広告宣伝
東南アジア 生産工場	<ul style="list-style-type: none">● 生産管理システムの導入(マレーシア工場)● 設備増強及び要員確保による生産体制の強化(フィリピン新工場)

サーモス他事業



フィリピン新工場



alfiの新製品を発売
(2017年2月22日)



自転車専用ボトルを発売
(2017年2月22日)



二子玉川に直営店をオープン
(2017年3月24日)

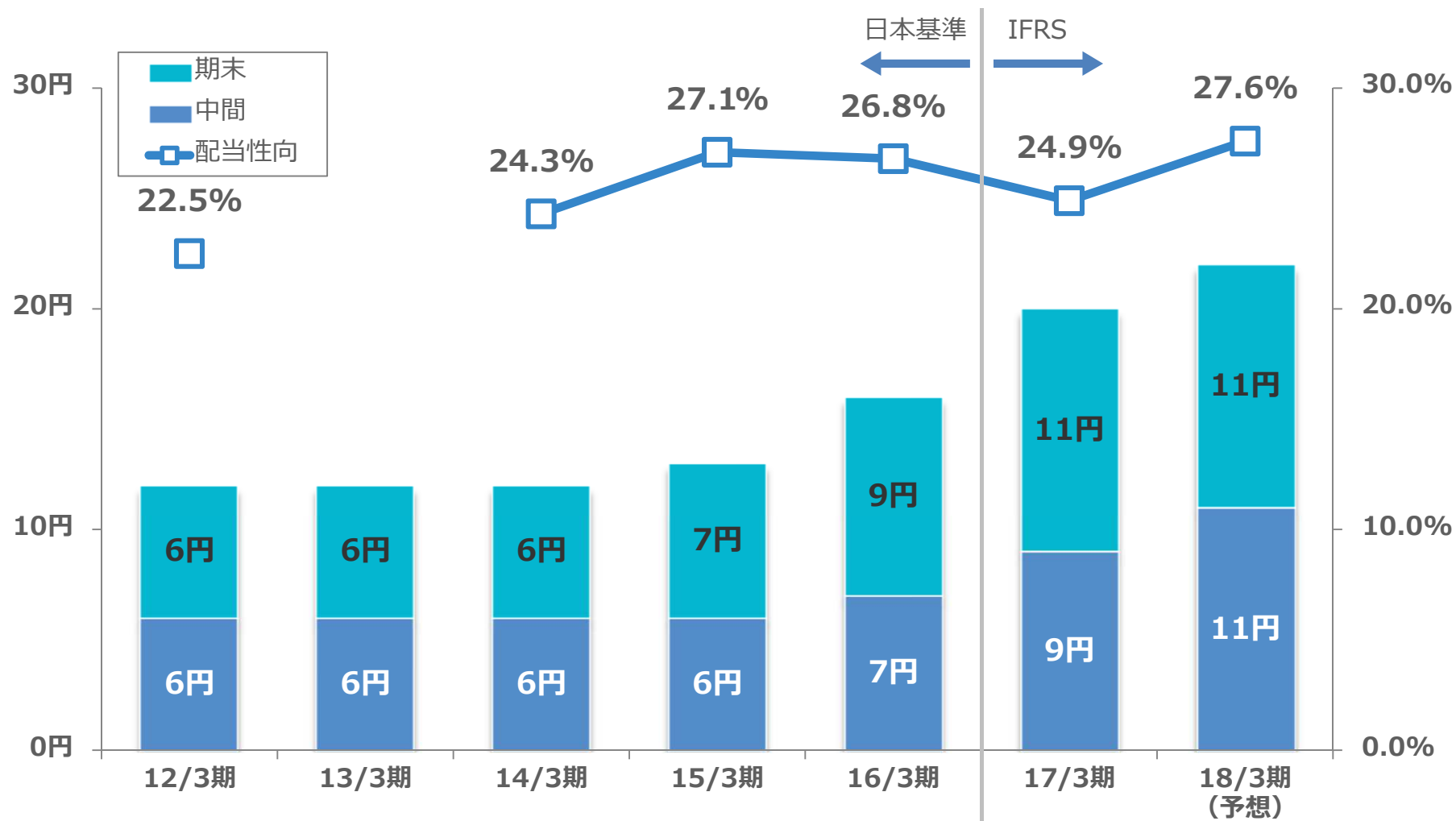
株主還元

A graphic element in the bottom right corner. It features a stylized globe of the Earth centered within a circular ring. The ring is divided into two segments: a larger blue segment on the left and a smaller green segment on the right. The entire graphic is set against a light blue, curved background that resembles a horizon or a rising sun. A dark green rectangular box with white text is positioned to the right of the globe, containing the text "Ortus Stage 2".

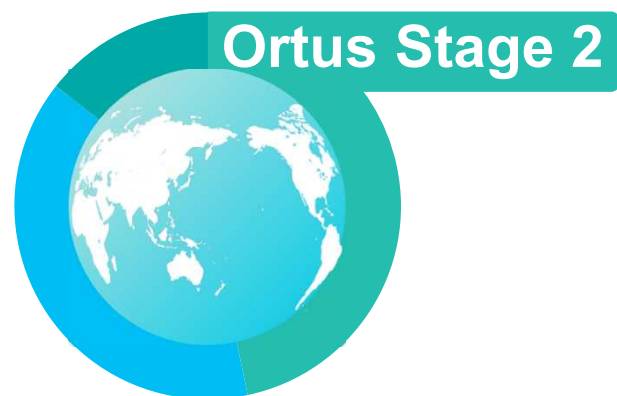
Ortus Stage 2

株主還元

安定的な配当を維持しつつ、業績に連動した配当政策を実施



ご清聴ありがとうございました。



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には、将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願い致します。